

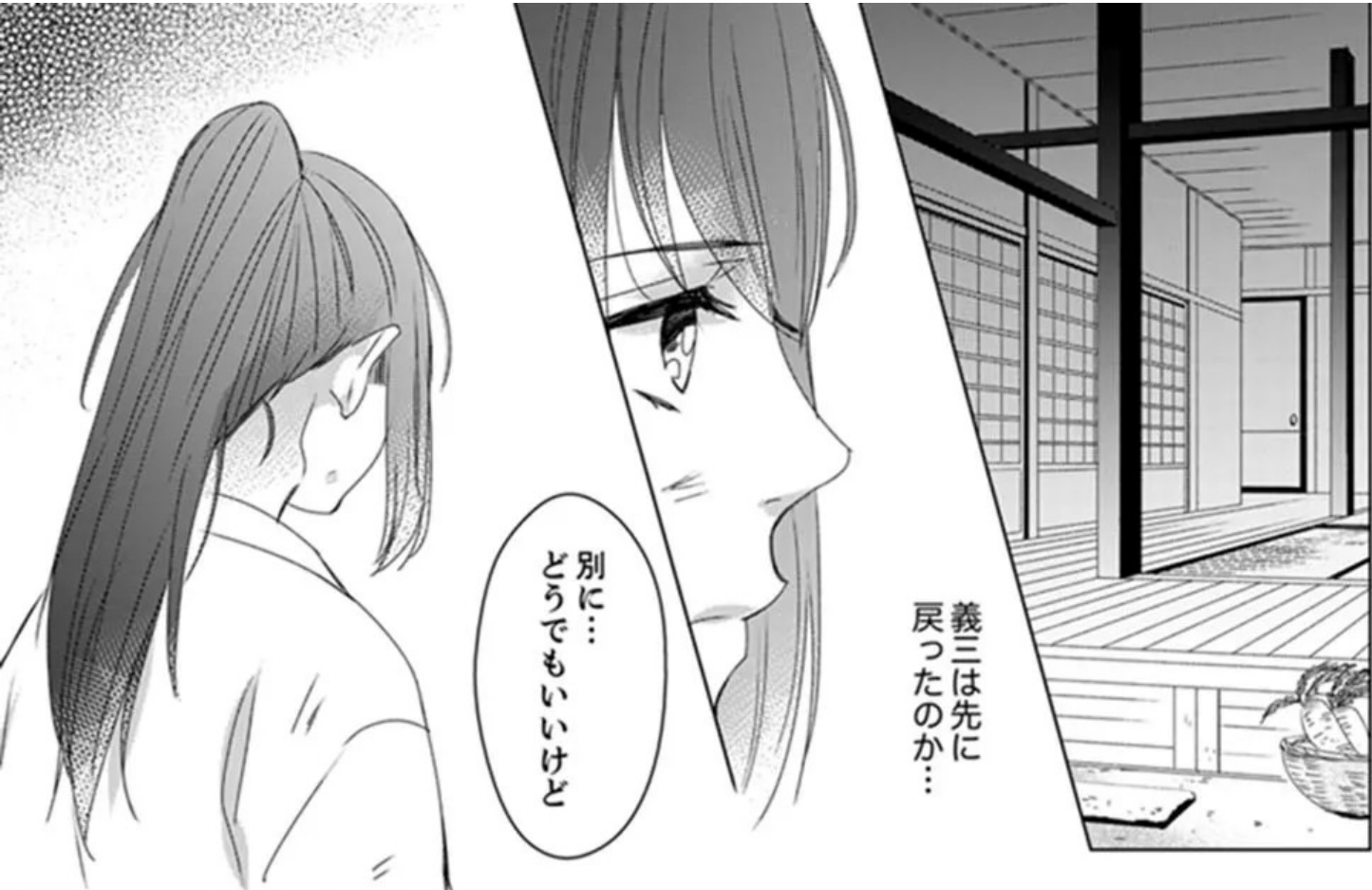
Kiha Chihana
千花キハ

偽りの初夜

ドS軍人と

14

愛らしき声で鳴け



お客さん飲み方が
荒いようですが
大丈夫ですか？

問題ない

もう一杯
くれ

俺のことが好きでは
なかったのか…

まったく
ピアノ男の
何が良いんだ

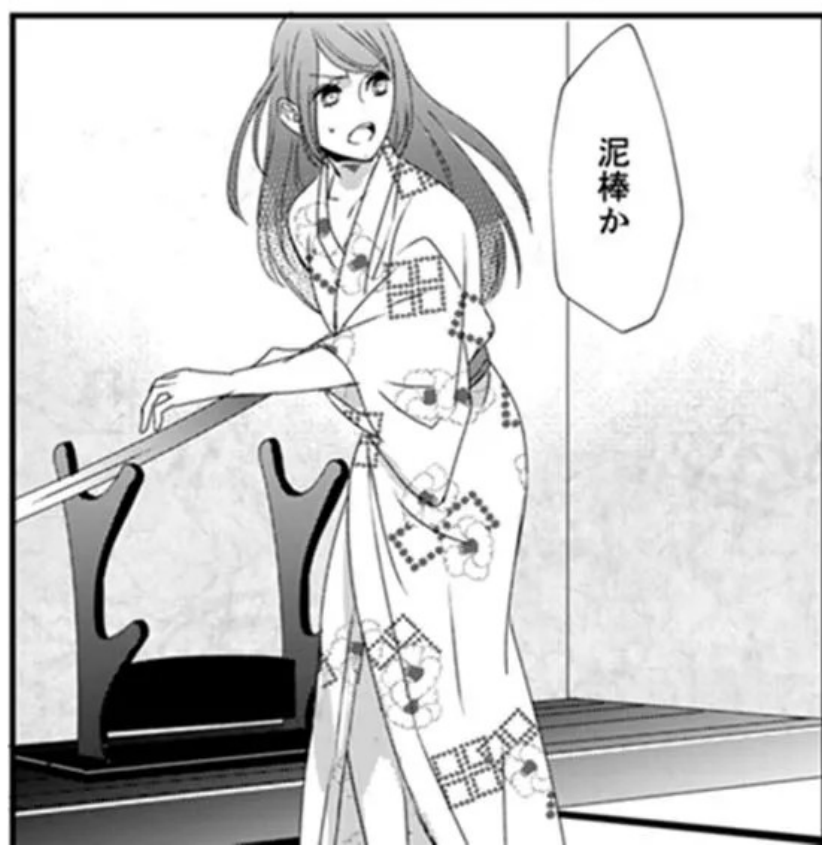
千代佳は
何を考えているのか
わからない――

ピアノが
なんですって？

あんたは
誰だ

この店で
ピアノを弾いている
者よ









送るのはここで
よかったかしら？

ああ

では
約束どおりの日に
会いに来て
くださいわね

…わかった

今晚
とても楽しかったわ

もしかして
義三…

それじゃ
また

ああ

私のこと

違う人と
過ごしたいって
思うくらい

本当に
呆れた？



なんで
あんたがここにっ



ピアノを習いたい
男性がいるって
聞いて来たんだけど

笹鞍さん
だったとは



あんたが千代佳に
なれなれしいからだ

随分だな…



みたいじゃなくて
嫌っている



なんだか俺は
君に随分嫌われて
いるみたいだな

今すぐ
帰ってもいいか



急用が
できたからって
古河さんにお願
いされてね



俺が
千代佳さんを
そういう目で
見ていると？

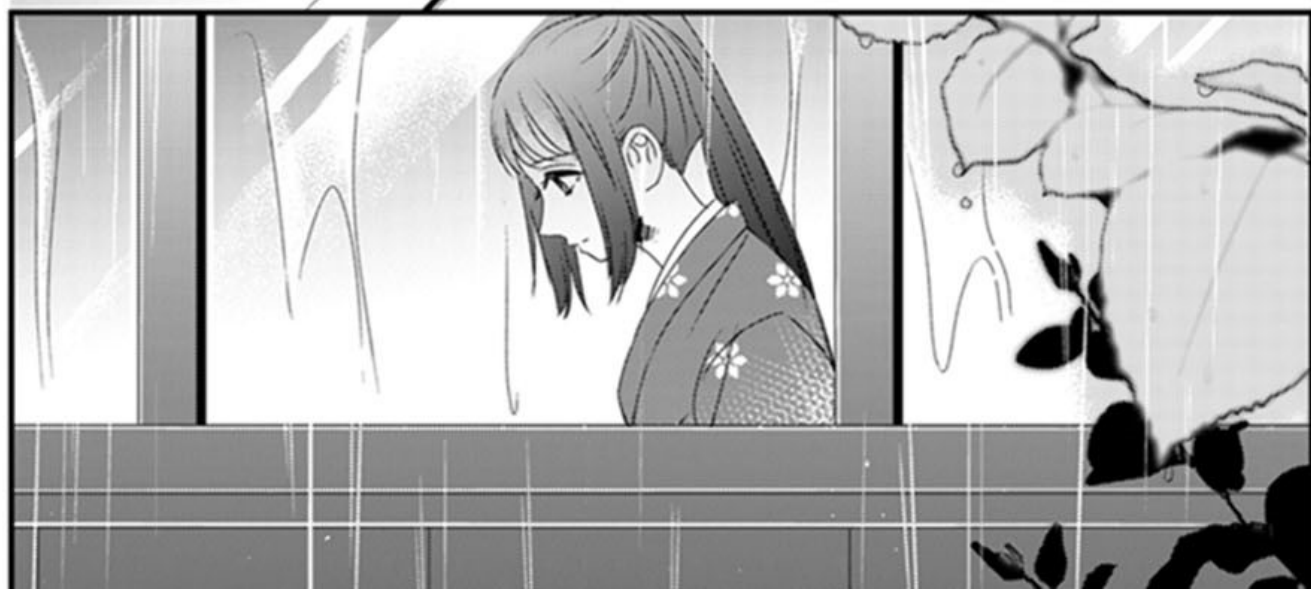






取られたくない
くらい

大切なんだろう？





千代佳は
来ていないか？

坂元道場



いん

どこへ行ったんだ



あいつが
行きそうなところ
なんて――





ここは……
千代佳と
来たことがある



このままずっと
降ってくれたら
いいのに



雨……
けっこう降って
きたな



そしたら
帰らなくて
いいし……



義三といたい

なのに――



離れたくない



千代佳



義三が
自分から選んだ人なら
万々歳じゃないか――

もともと私と義三は
お互いの目的で
一緒にいただけ……だし

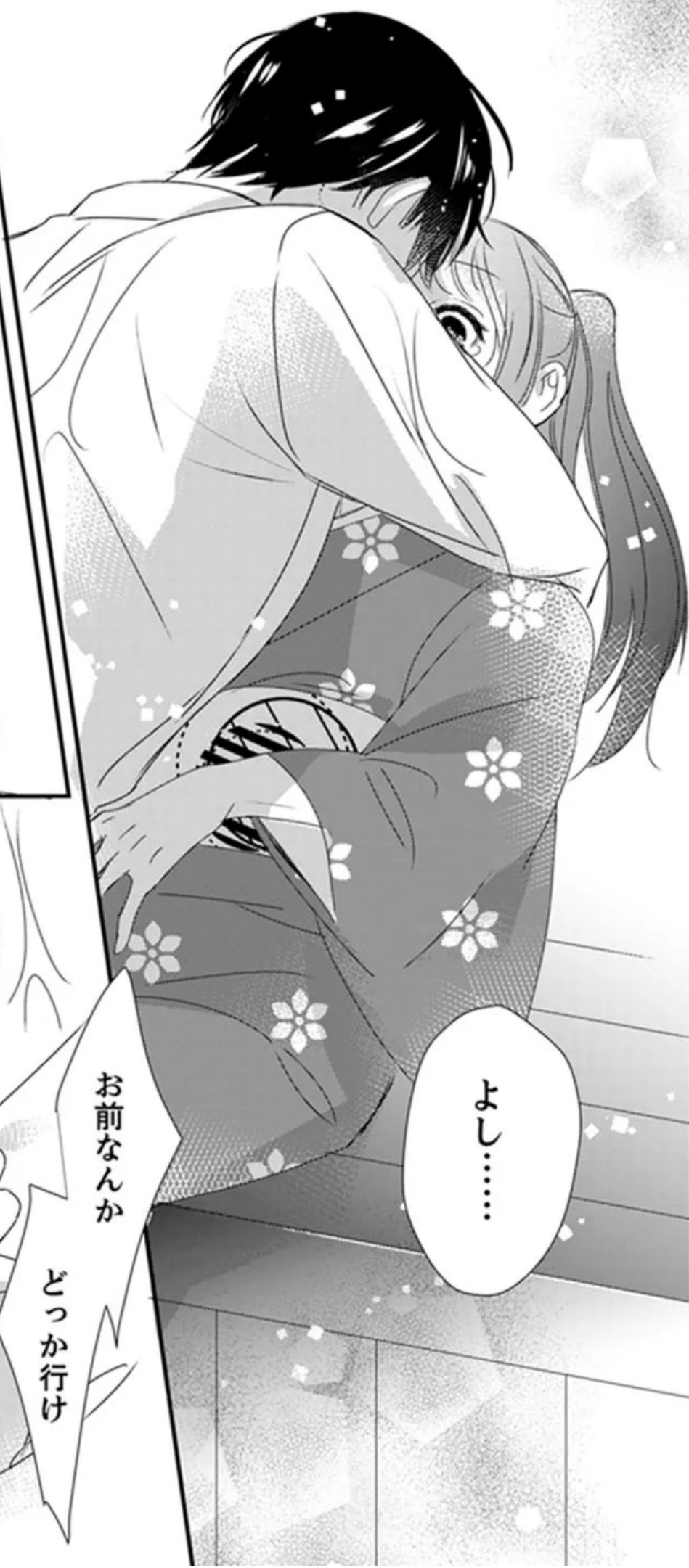


バカ
離せっ



お前なんか

どっか行け



よし……



いいかつ

よく聞け



今の俺が選ぶのは
千代佳だけだ

俺が

誰よりも何よりも
愛しいと思うのも

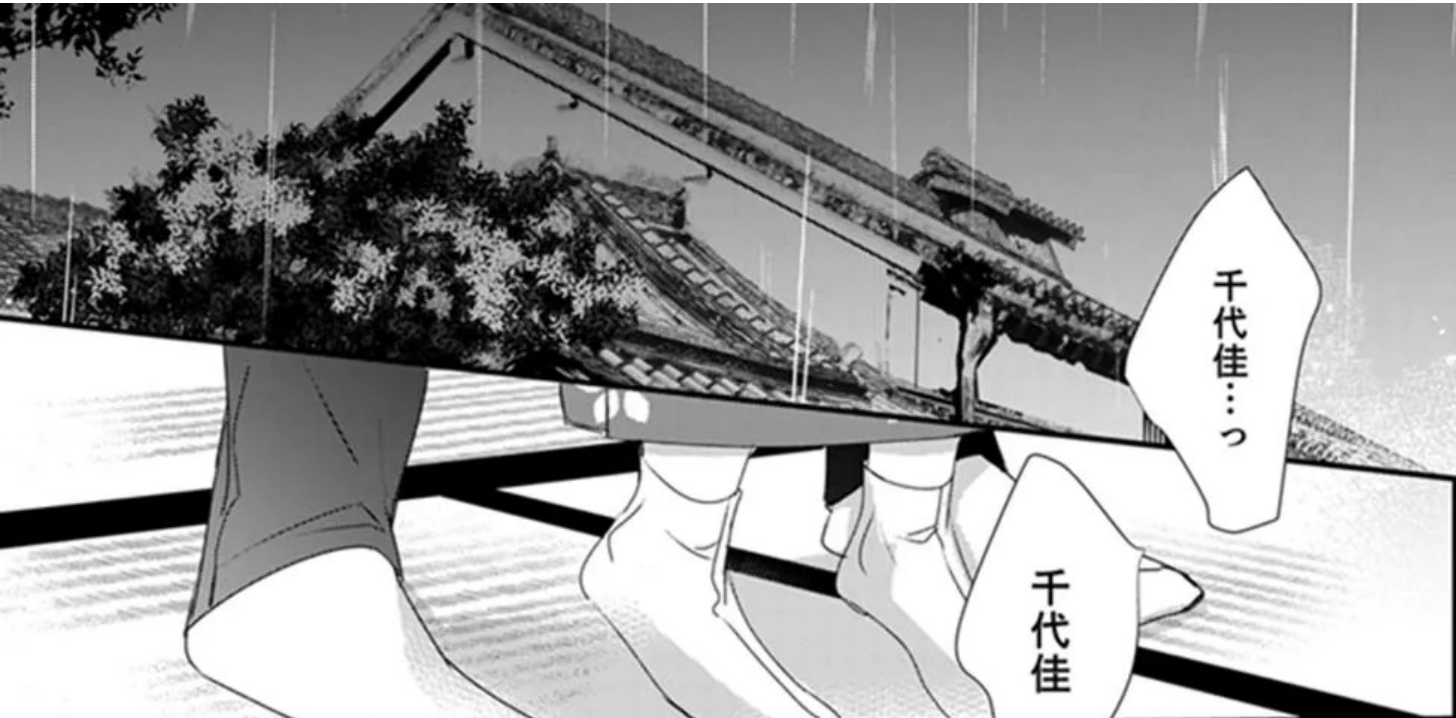
千代佳だ

あんたを…

佐伯に取られて
しまったと思った
俺の醜い嫉妬だ

呆れたなんて
言ってすまない…





千代佳…っ

千代佳

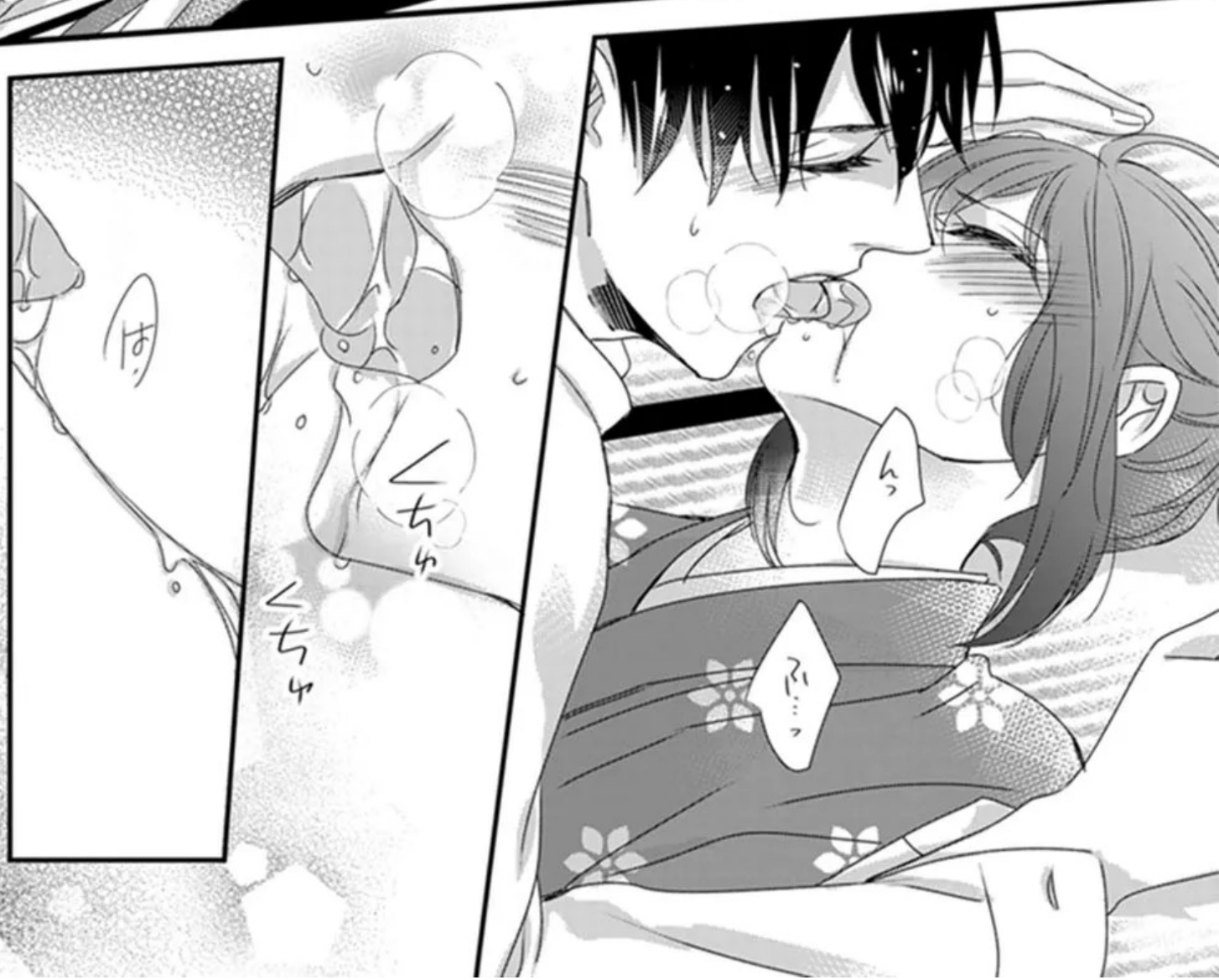


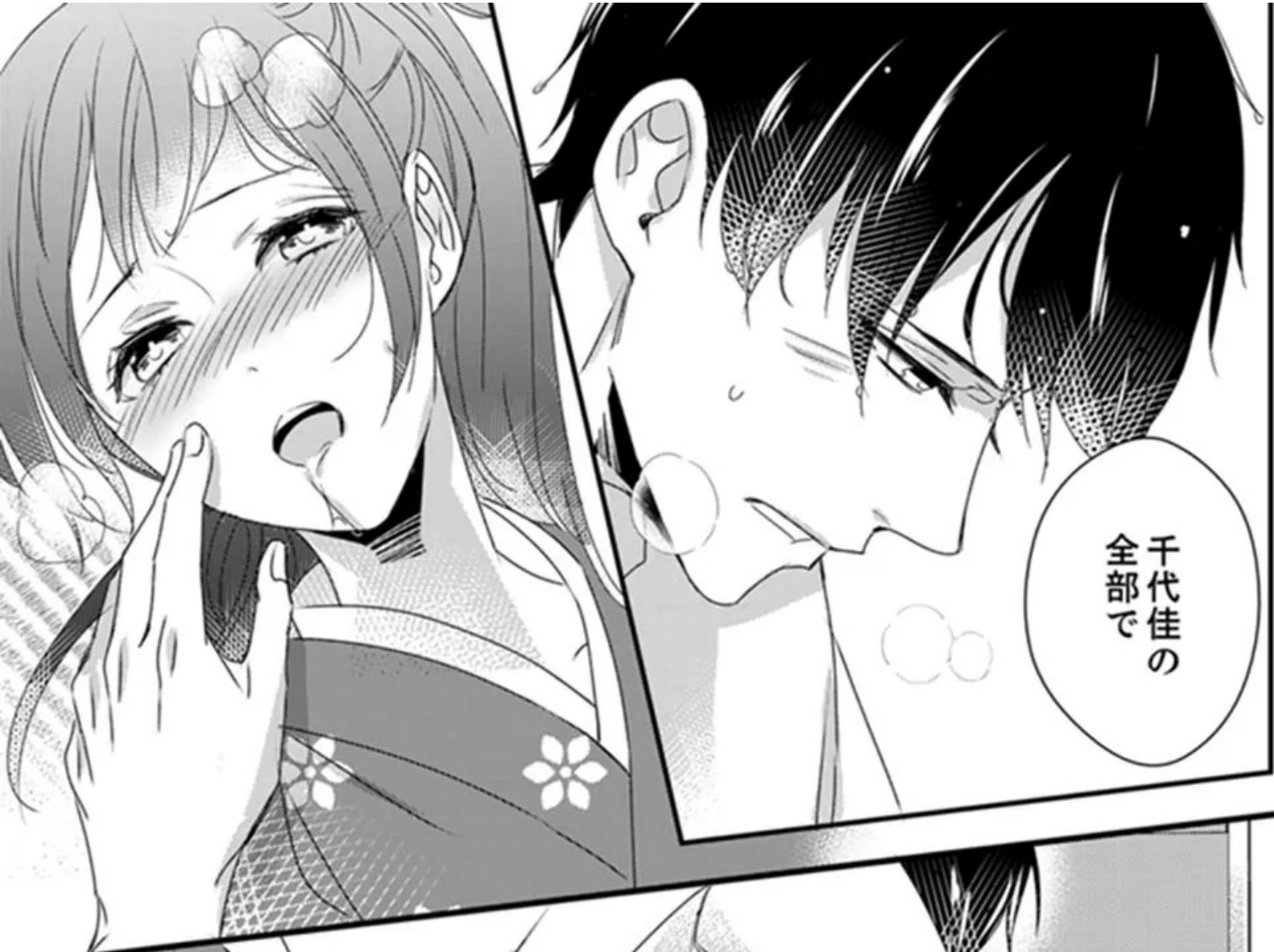
なら
こうして
温まれば問題ない



だめだ
義三っ

このままじゃ
風邪ひく…っ





千代佳の
全部で



俺を温めろ





早く休ませて
あげたいけど…

もっと
してほしい…

よし…み

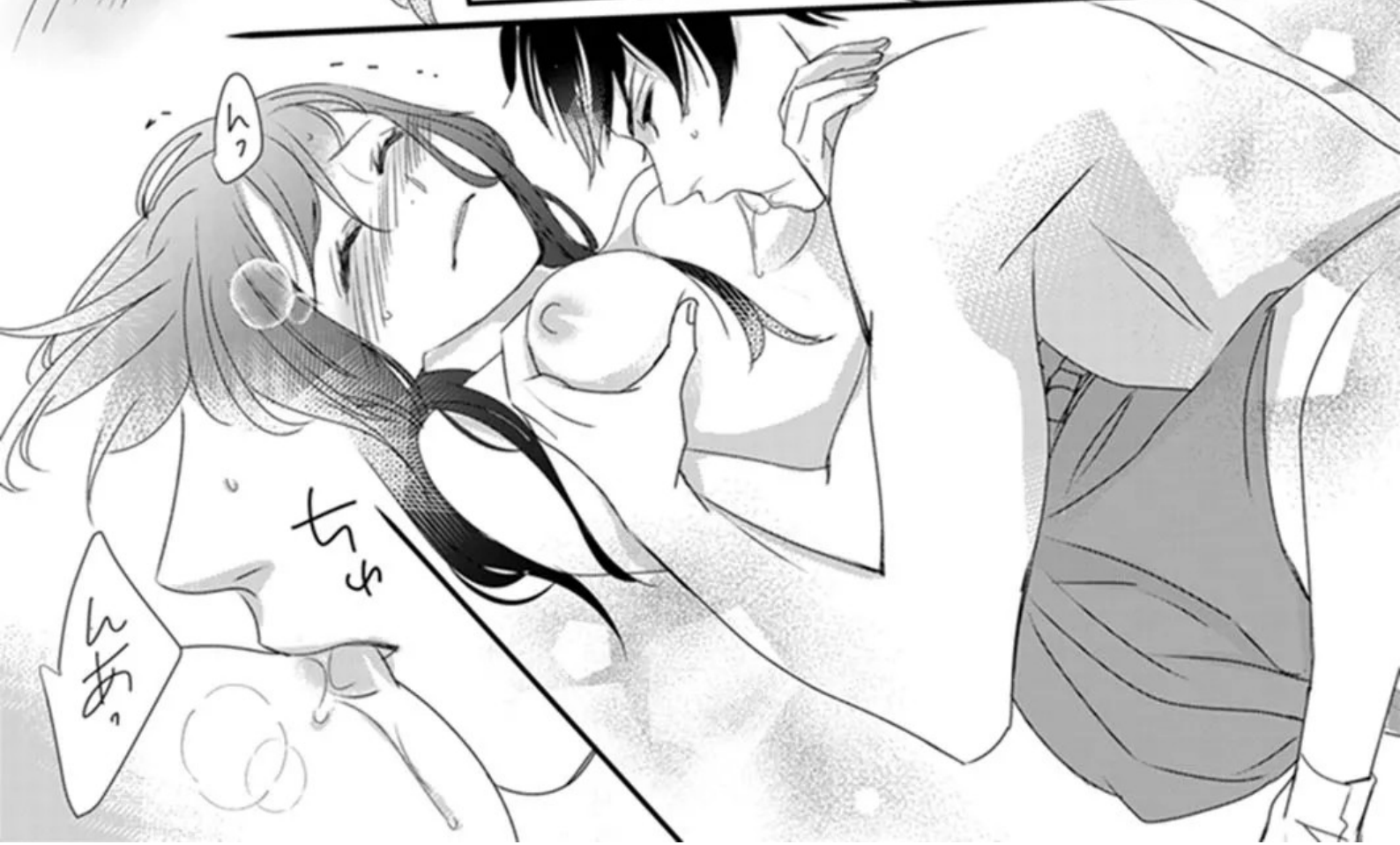
やめたくない

義三の舌
すごく熱い…

やっぱり熱が

ん？

義三をもっと
感じたい







あ、
まっこ...

そんなっ

ゆ
3

...

は

私っ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

あ、

ちゅ

あ、



この距離が
もどかしい

早く
義三に満たされたい



手加減…
できないかも
しれないぞ



義三…
いれて

舌じゃ
いやだ…



酷くするつもりは
ないが

優しく
できなかったら
すまん



俺だけを
その瞳に
映せっ

もっと
聞かせてくれ







To be continued...



ドS軍人と偽りの初夜 — 愛らしい声で鳴け 14巻

発行日 2017年10月1日

著者 千花キハ

発行 モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、
実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することは
できません。

© 2017 Kiha Chihana

Kiha Chihana
千花キハ

偽りの初夜

ドS軍人と

15

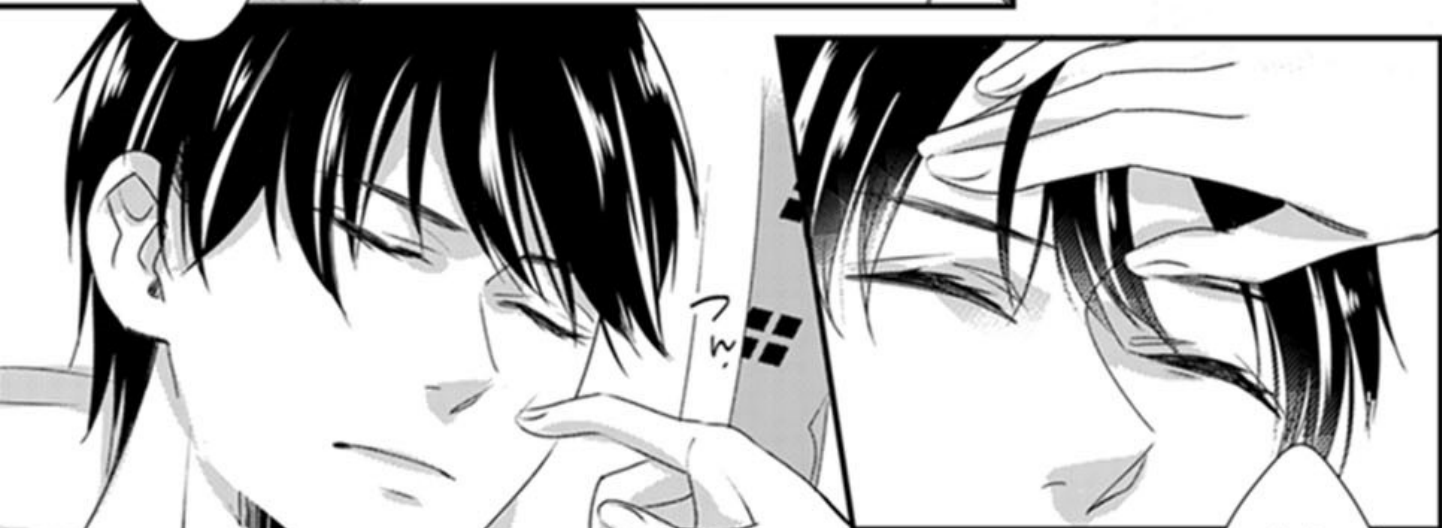
愛らしき声で鳴け



あのまま
寝ちゃった
んだな…



そうだ
義三の熱っ



よかった…
出てない

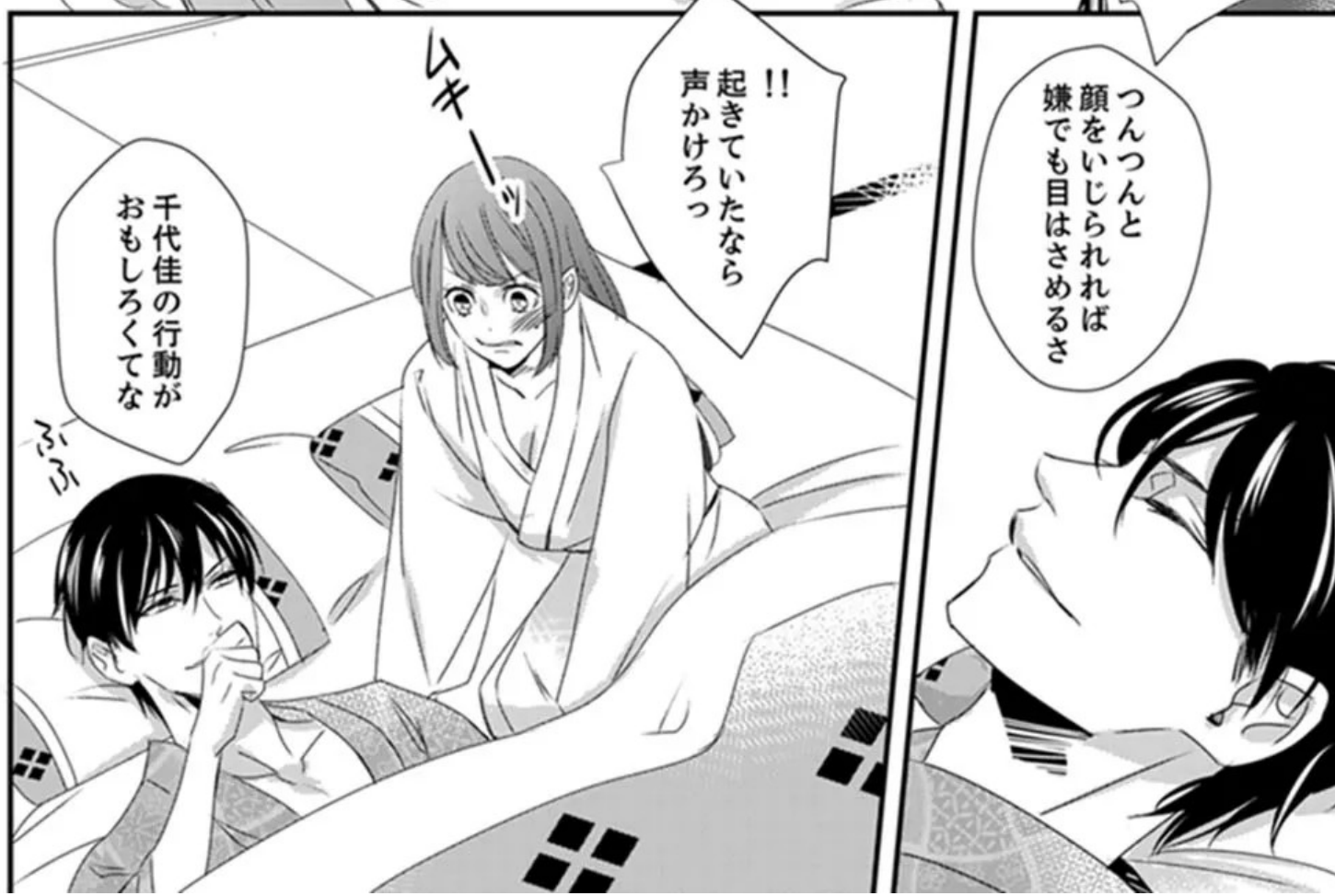


私

ちゃんと義三に
好きって言って
もらえたんだ…



起きて
いたのかーっ





義三様
起きていらっしやい
ますか？

どうかしたのか

おふたりに
速達のお手紙が
届いてまして

佐伯丈士



何か
あったのか？



佐伯から旅行の
鉄道切符と小切手が
送られてきた

旅行!?

誤解させて
すまなかったね
今頃は仲直りして
いる頃だと思うけど

君たちはもつと
二人きりで過ごす
時間が必要だと思って
これを贈るよ



年上からの
お節介と思つて
受け取つてほしい



佐伯の奴め…

妙な気を
利かせて



要するに
水いらずで
もつと乳繰り合え
ってことらしい



旅行なんて
どうしてまた…



馬鹿！
元木さんの
前だぞ！！

痛ッ



義三っ
ここビードロの
工芸品が有名らしい



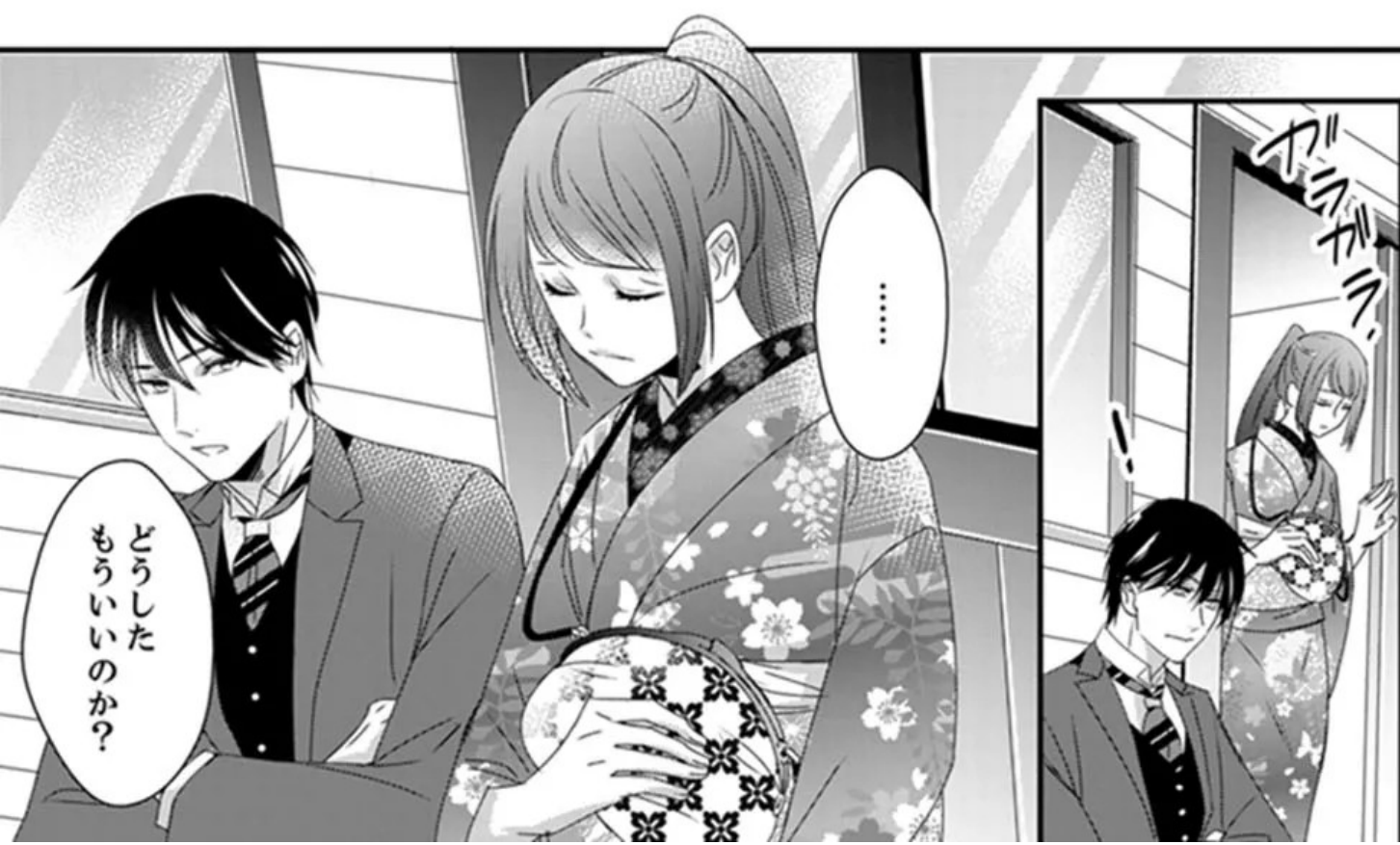
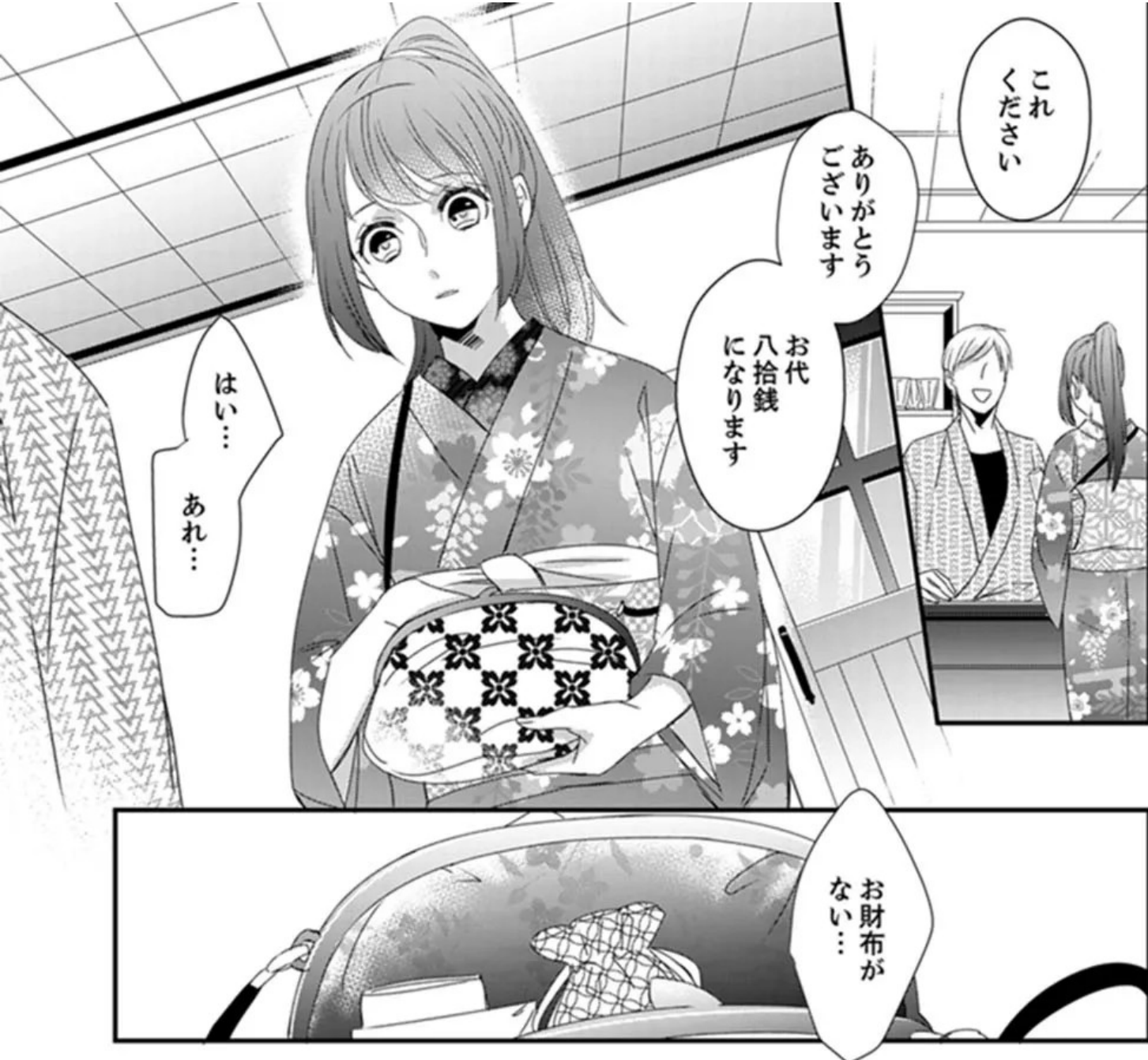
佐伯さんの
ご厚意で

突然の
水いらず旅に

ホッホーッ







財布……
なくしてしまったみたいだ……
佐伯さんからの小切手も
入ってたのに

私が浮かれ
すぎたせいだ……

すまない……

行くぞ

行くって
どこへ

宿へ行って
事情を説明すれば
なんとかなるだろ

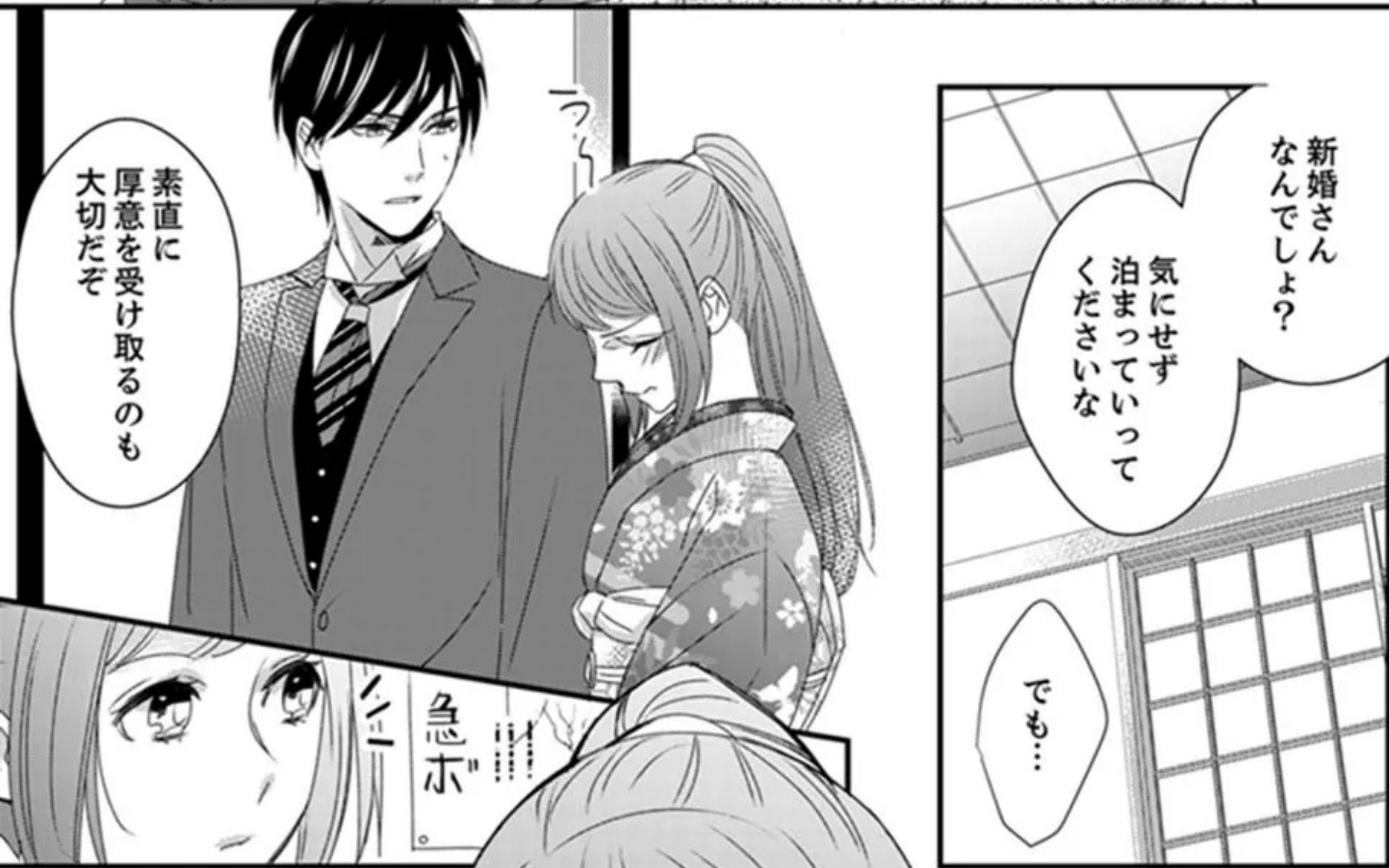
でも

せつかくの
新婚旅行だろ

消えたのが
あんたじゃなくて
財布でよかった

新婚旅行……

つい義三の態度に
嬉しくなっ
てしまう





義三ーっ
準備できたか？

ああ
今行く

どこか
おかしいか？



いつもの感じと
違って見えて
びっくりした…

それじゃ私は
台所で膳と仕出しを
手伝ってくるから

義三は
客の案内と
庭の見廻りだな

ああ



いや
大丈夫だ

行くぞ

？



千代佳もな

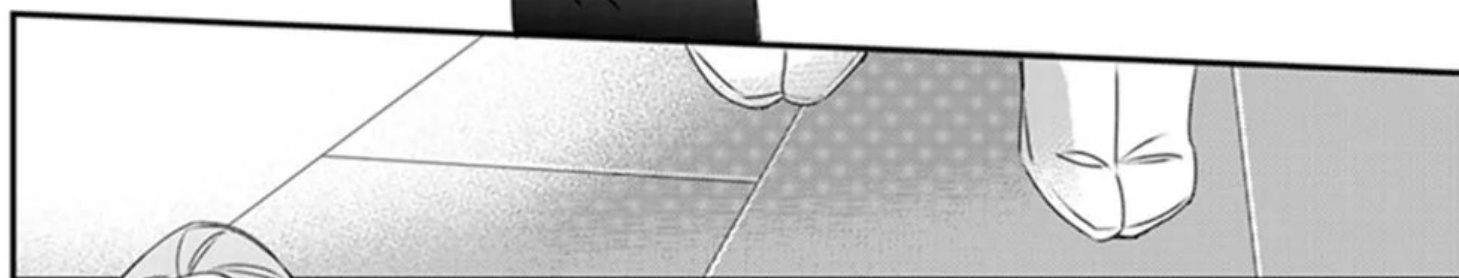
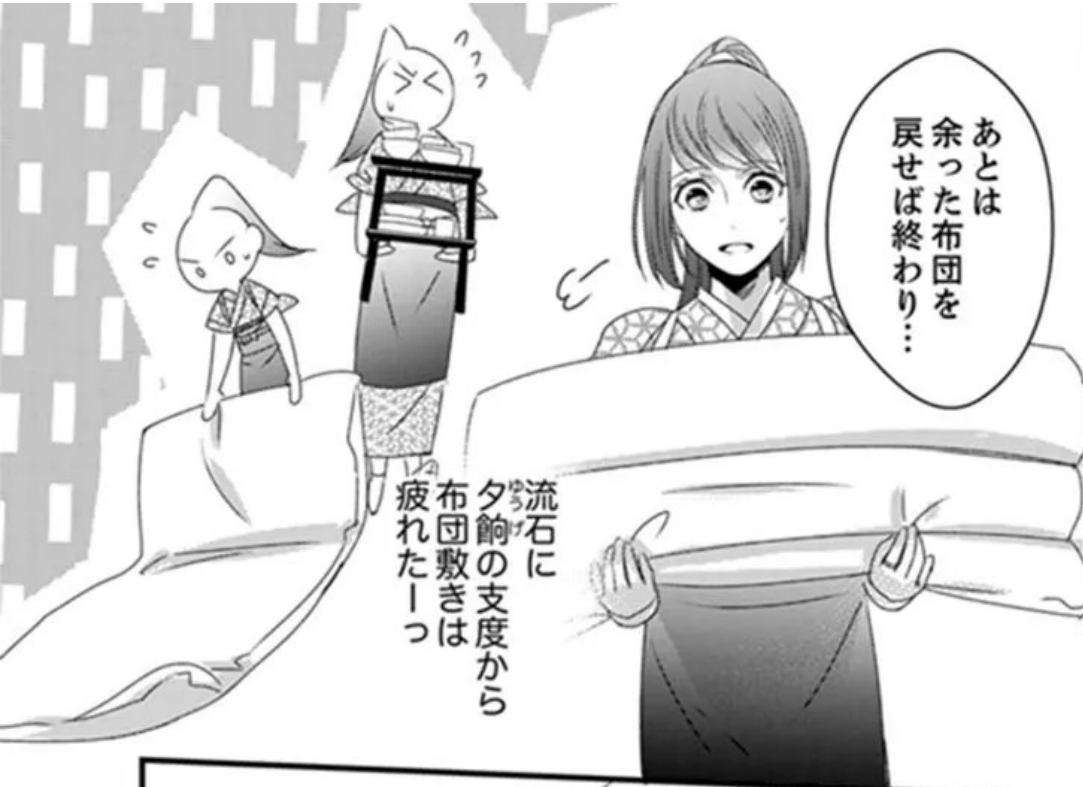


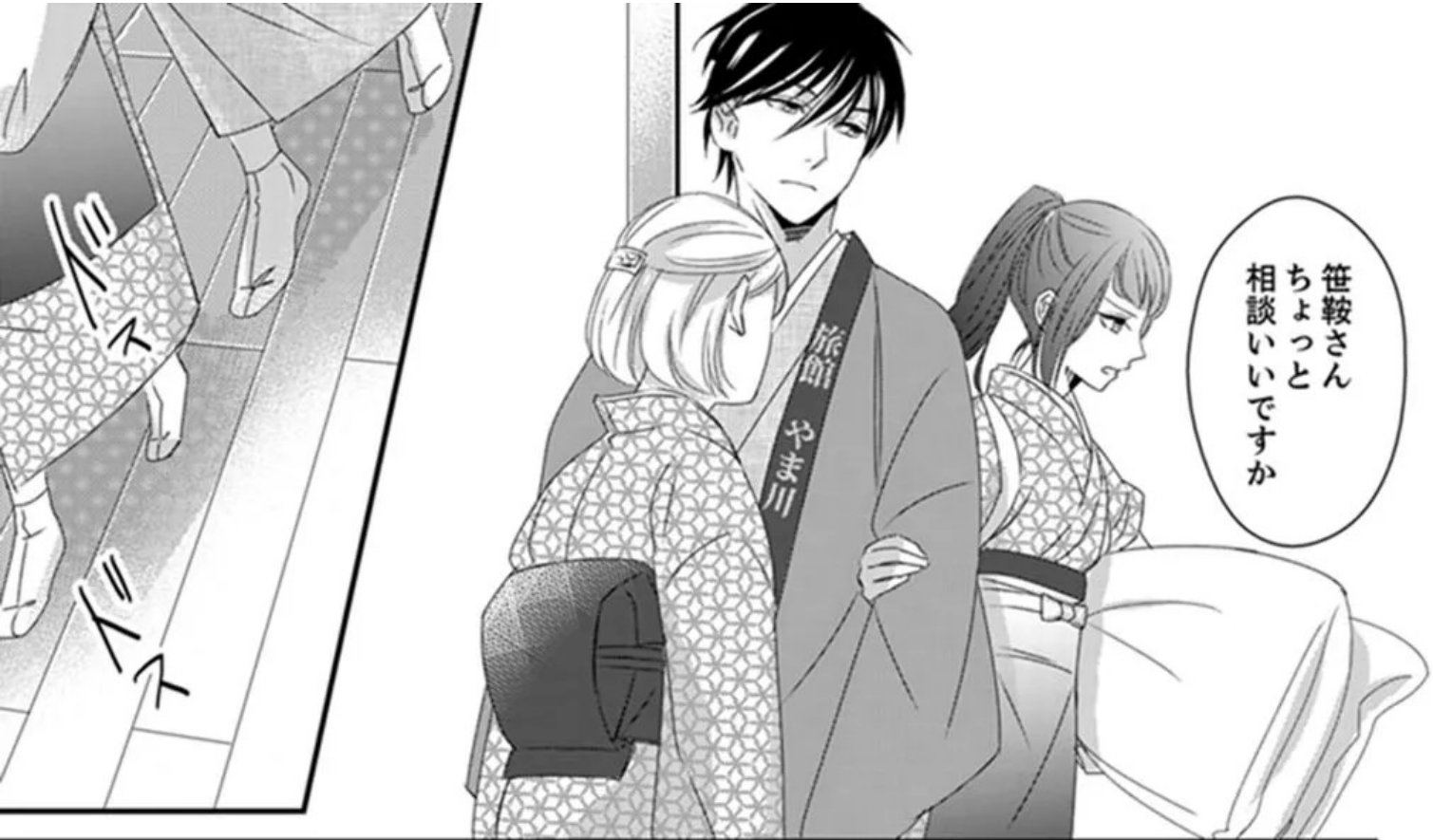
頑張れよ



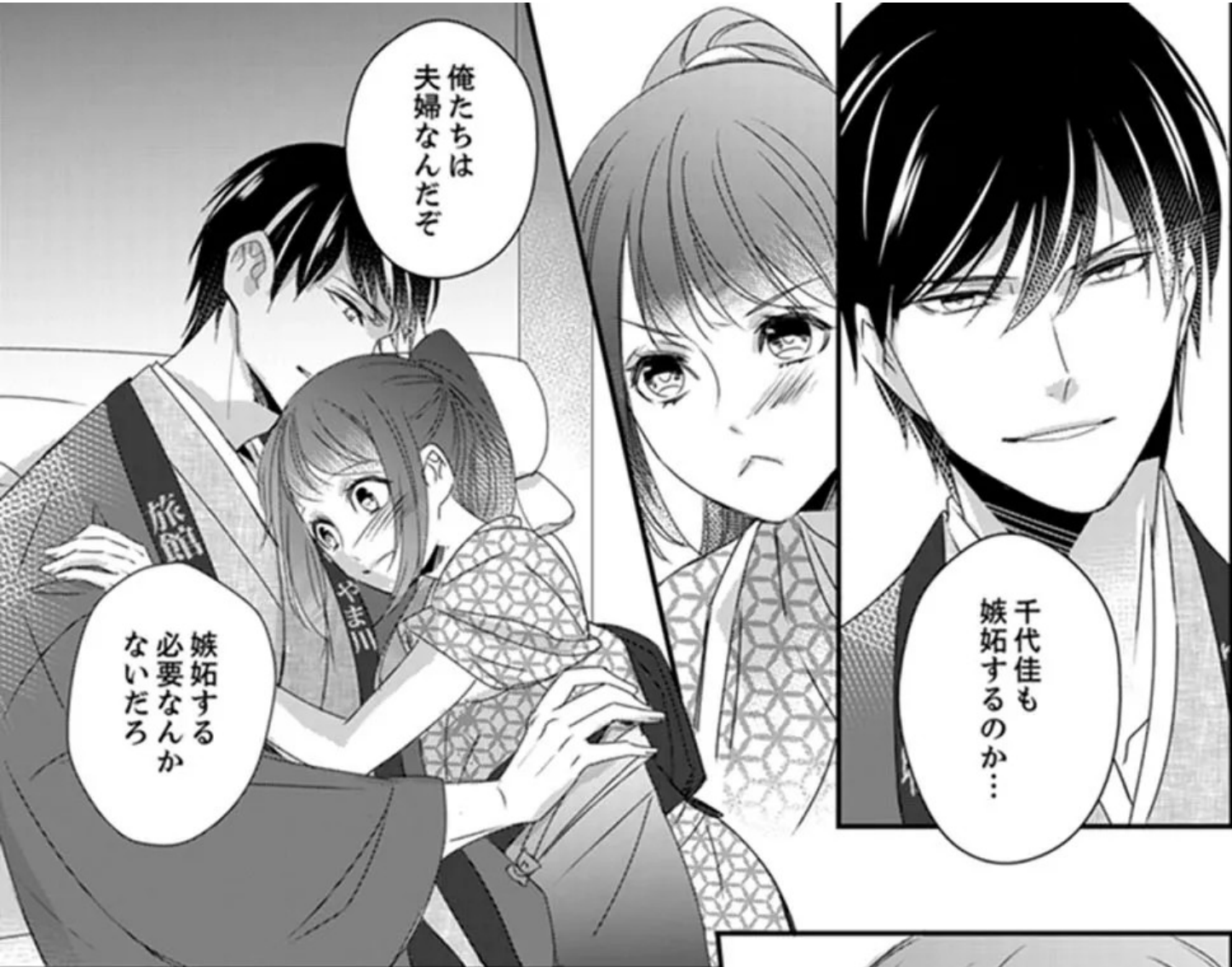












嫉妬で不安に
なってるあんたを

安心させて
やらないとな

あつ
ここじゃ…
もし誰か来たらっ

もうみんな
寝てるだろ

でも

ふ

んん

んん



誰かに
聞かれてたって
かまわんさ

でもっ
あ...っ

夫婦のする
ことだ

ん、



義三の舌と
髪が…あたって…

もどかしい

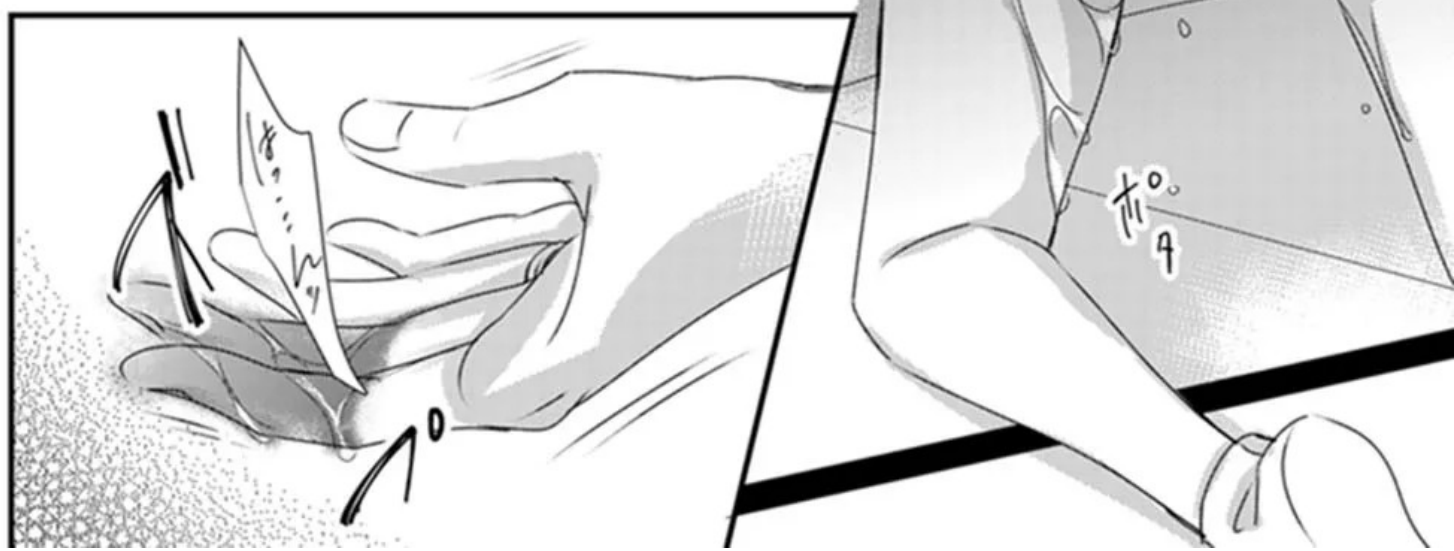


溶けきっているな…

俺の舌でそうなるの

可愛い







家じゃないからか

いつもより
トロトロだな

どンドン
溢れてくる

…だって
気持ちいい所に
あたって…



溶け合って
しまいたい

義三…
まだ

足りない…ッ

どっちの熱か
わからないくらい





千代佳の
果てる顔が
もつと見たい

あつ義三

もつと
強くして…

壊れそうなくらい
激しいのに

義三の
一途な気持ちが
流れてくるみたいで

嬉しい

ぜっ
っ
たい
離
し
た
く
な
い

三日後――

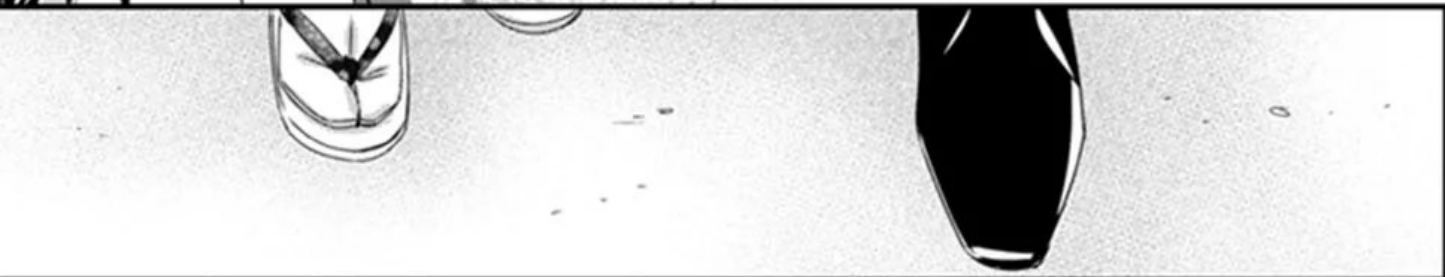
帰る前
にお財
布見
つか
って
本
当
に
よ
か
っ
た
わ
ね

はい……
駅の忘れ物
保管庫にあ
った
みたいで……

無事
に
見
つ
か
っ
た
こ
と
だ
し

せ
っ
か
く
だ
ら
数
日
ゆ
っ
く
り
泊
ま
っ
て
い
っ
て









To be continued...



ドS軍人と偽りの初夜 — 愛らしい声で鳴け 15巻

発行日 2017年12月1日

著者 千花キハ

発行 モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、
実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することは
できません。

© 2017 Kiha Chihana

Kiha Chihana
千花キハ

偽りの初夜

ドS軍人と

16

愛らしき声で鳴け





昇級には
ロシアへの
赴任…

もし行けば
5年は日本へ
戻れないかもしれない

以前の自分なら
ためらいなく
行くだろう

千代佳は
どうする…

ア—



おつ 笹鞍
待ったつたぞ

笹鞍です
失礼します

フツ
フツ
フツ

昇級の件
本日中にも受理
するからここに
署名を頼む

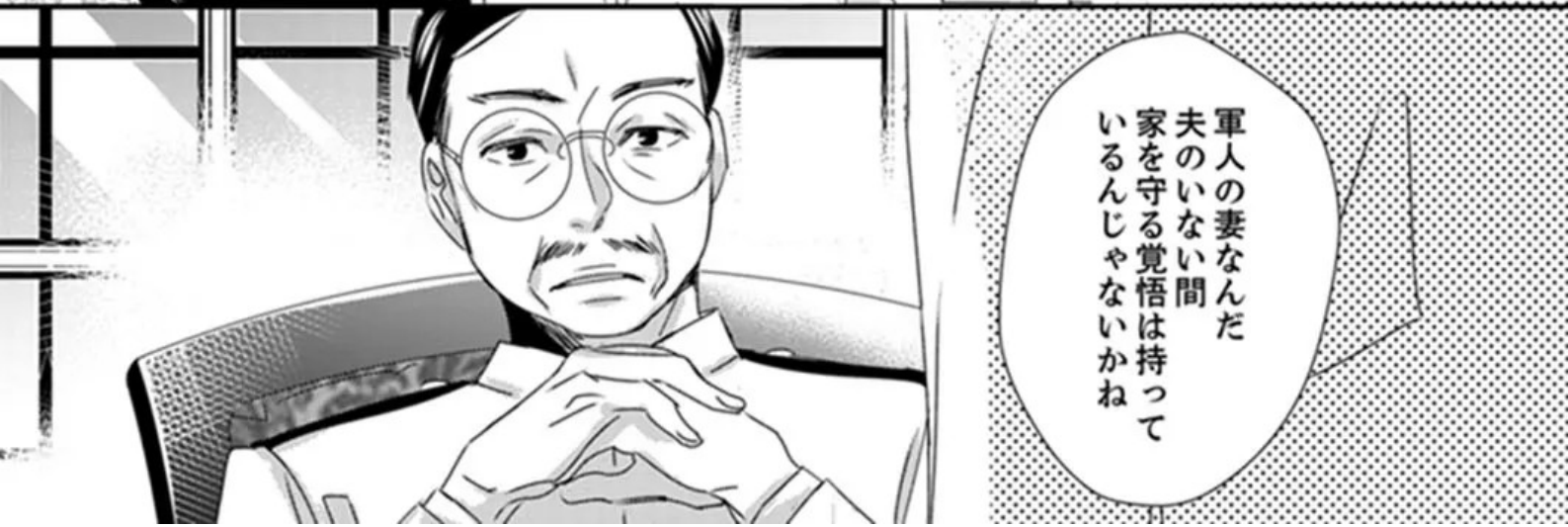


ん？

はちまん
八幡さん
昇級について
なのですが



ロシア行きの件
延期させて頂きたく



俺が…

それをさせたくないのです

千代佳に
不安を
与えたくない

申し訳
ありません

ほう…

いやーっ
あの子か

そうかそうか
君も妻を想う一端の
男になったと
いうことか

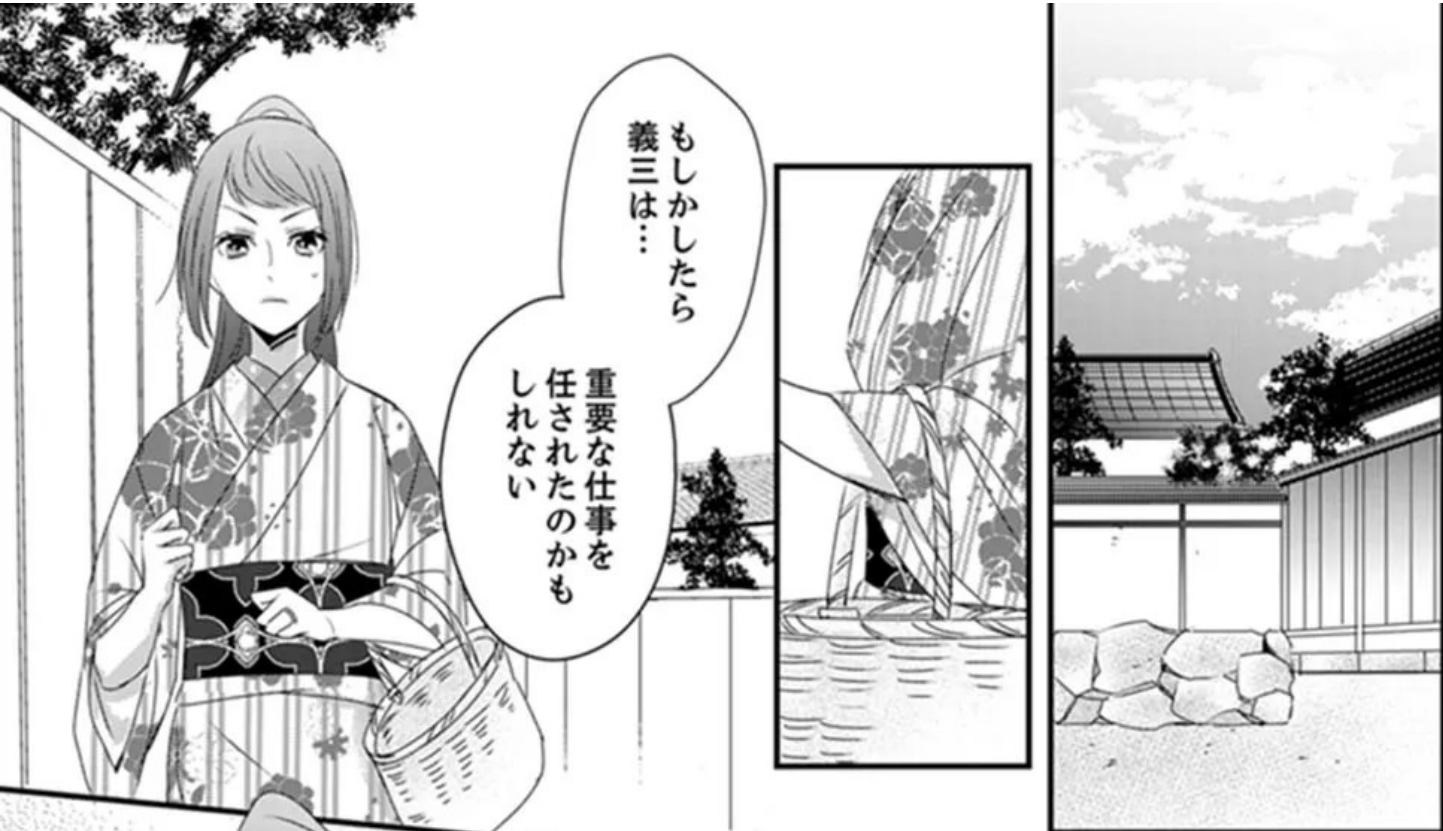
…延期を了承して
やりたい気持ちも
あるんだが

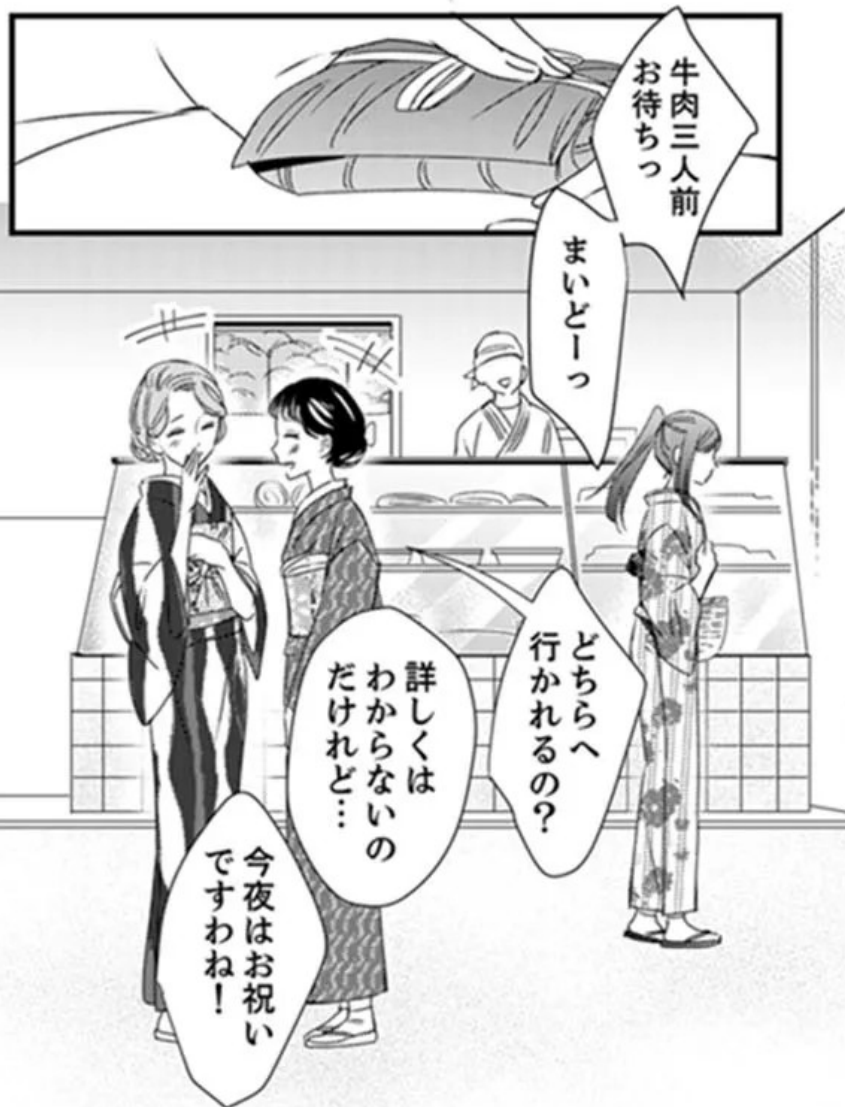
今回はワシの一存で
決めることができるの
だよ…

実は
君の昇級を一番に
推しているのが
白鳥大佐だ
しらとり

!

どうしてもと
いうのなら
白鳥さんに直接
交渉するしか
ないぞ







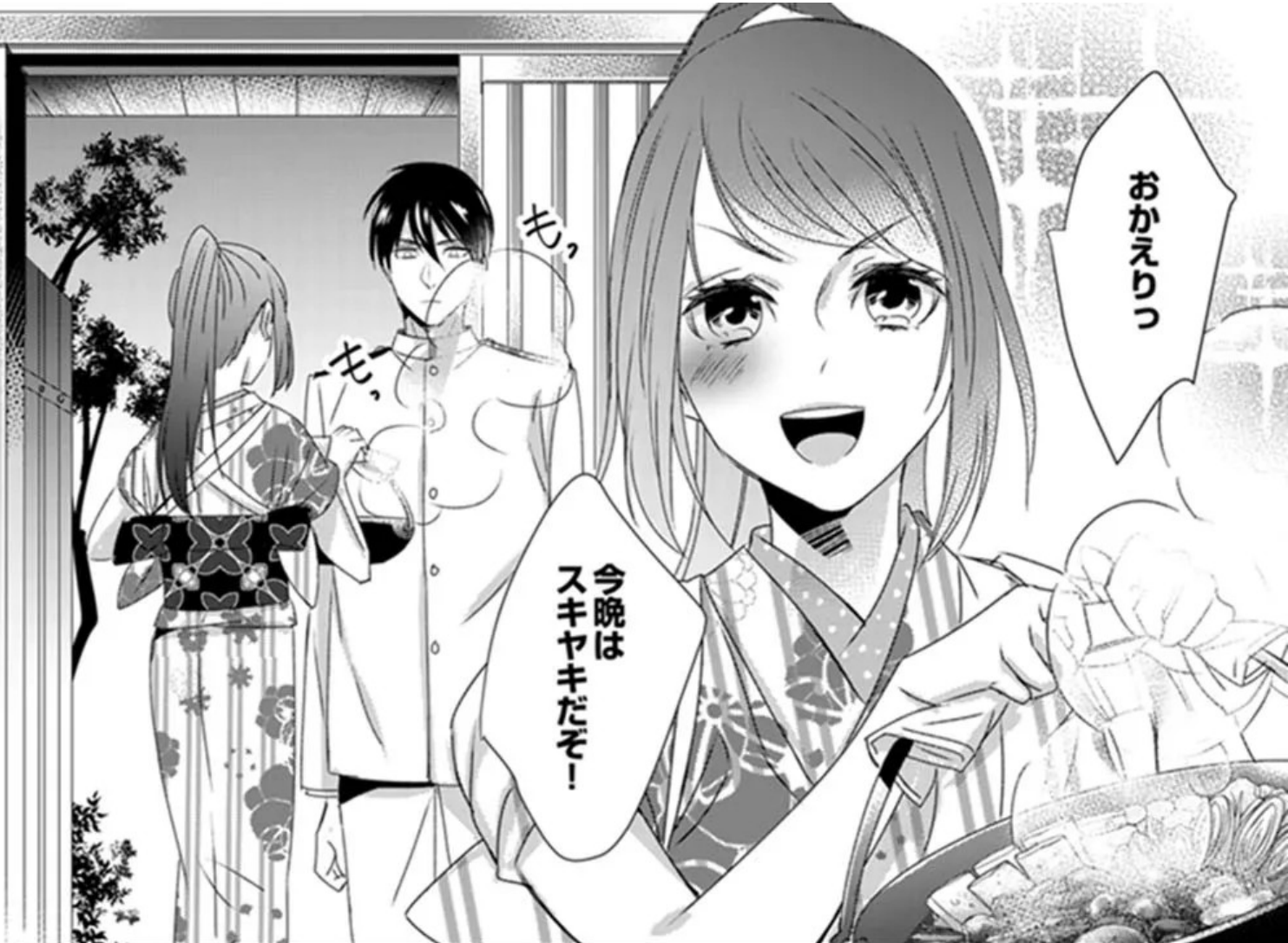
海外への…

もしかしたら
義三に届いた手紙も



いま
帰った

義三っ



何か
あったのか？



今夜は
また豪勢だな…



もしかしたら
義三に來た手紙も…

そうだ

ロシアへの
赴任だ

いいものかっ

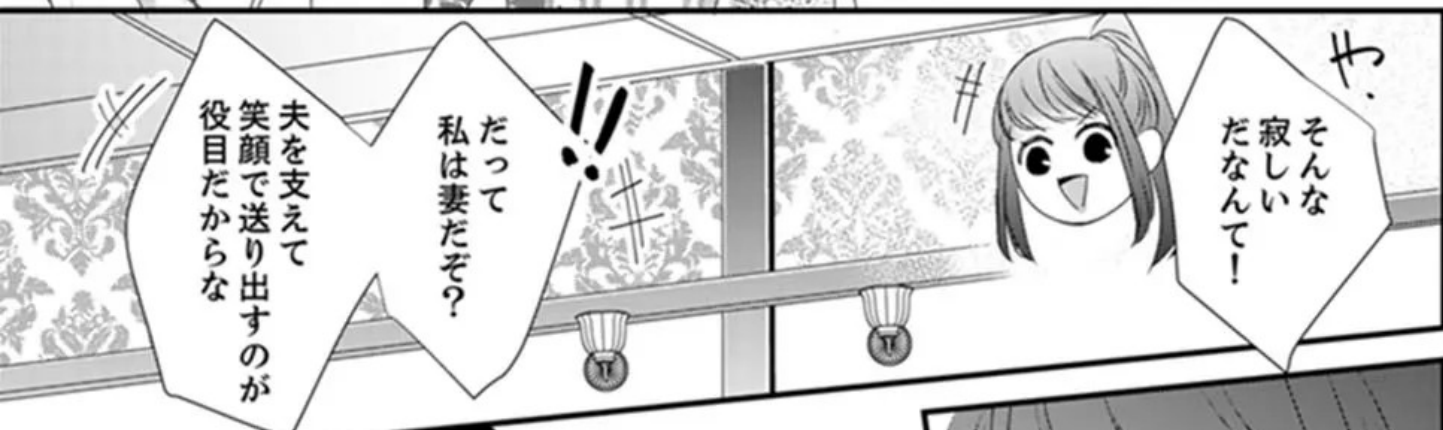
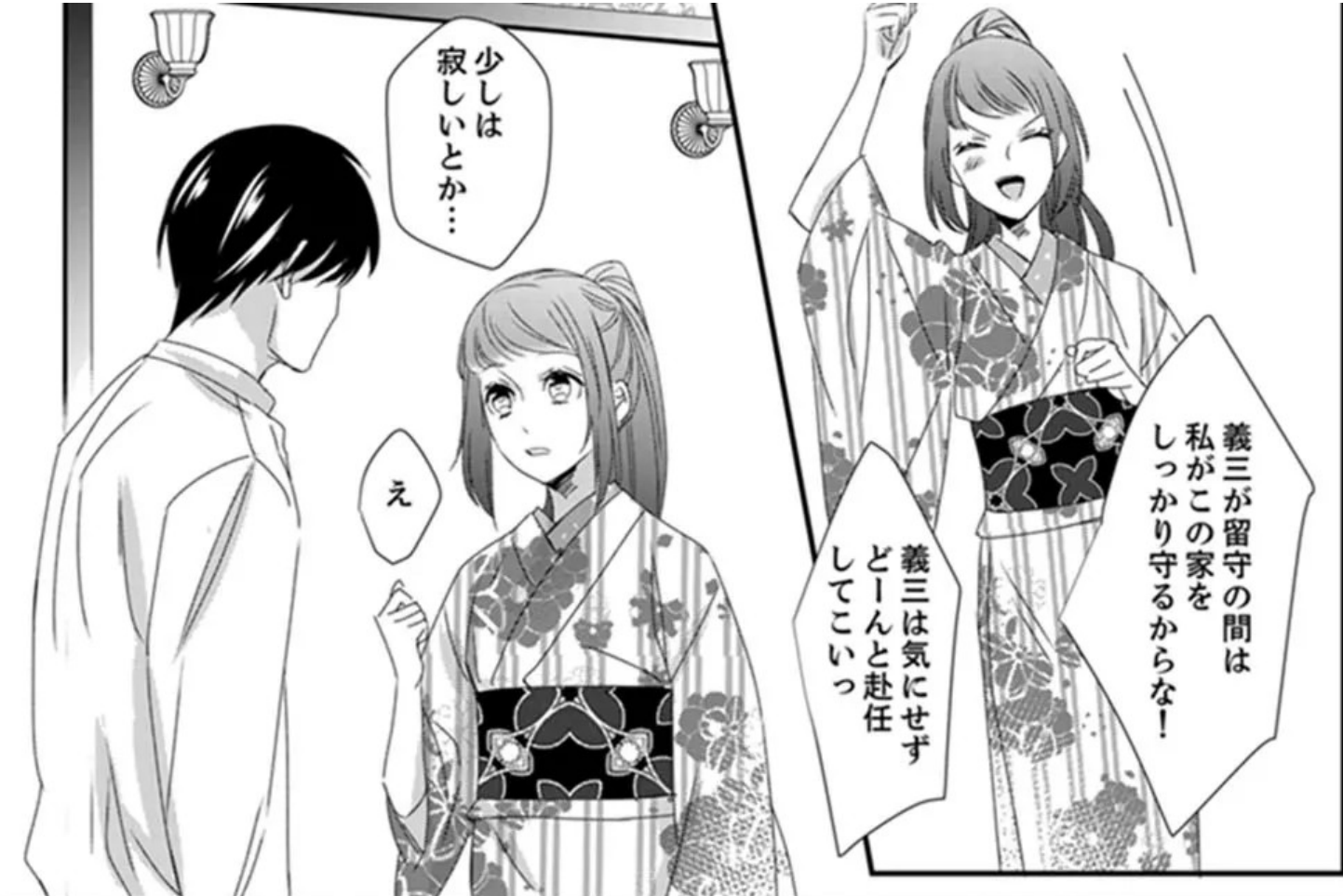
赴任すれば
数年は戻って
これない

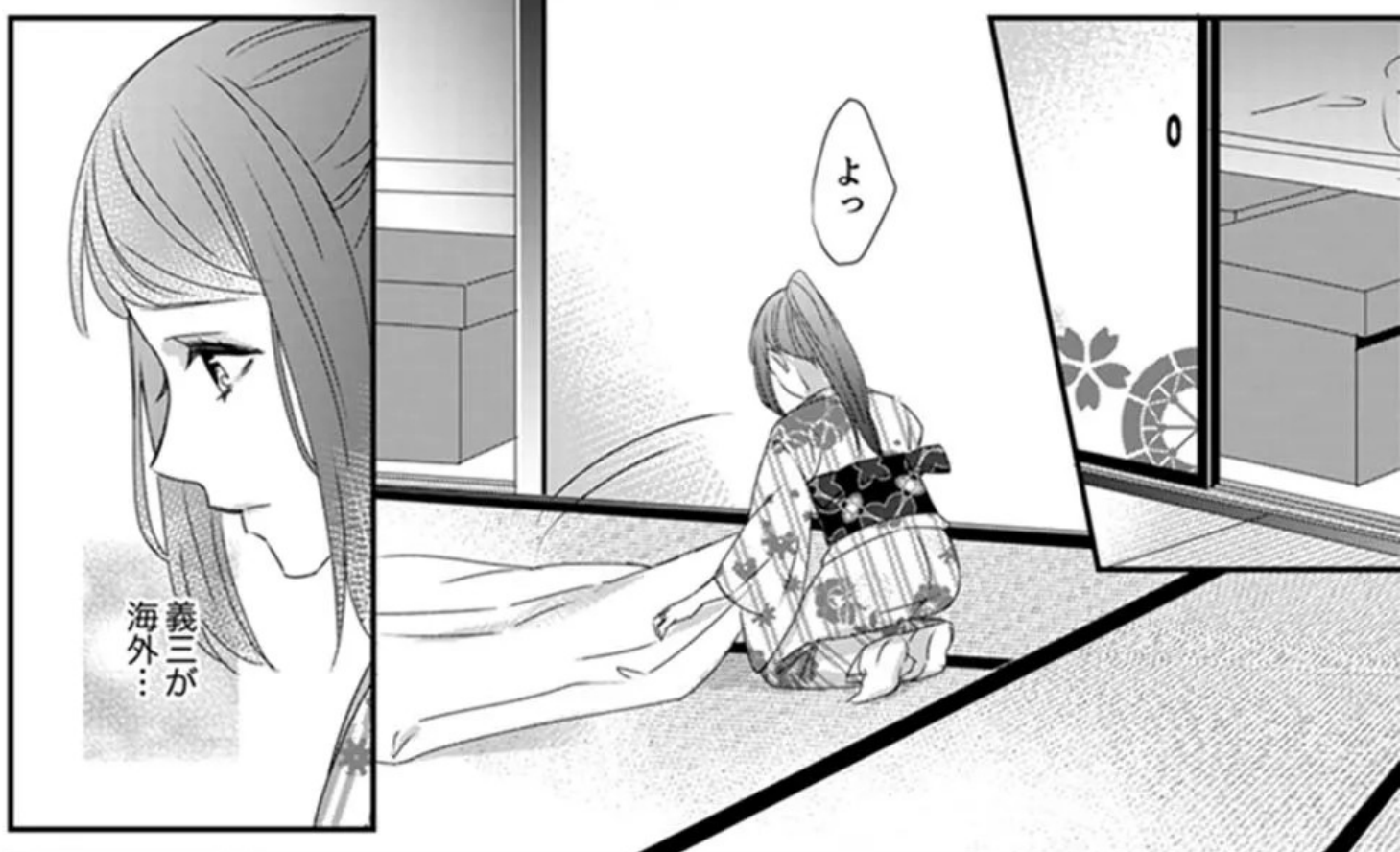
それにあんたを
置いていくなんて
そんなこと

ロシア？

よかった
じゃないかっ

安心しろ！





義三が
海外：

よっ



ロシアって
どこだろう

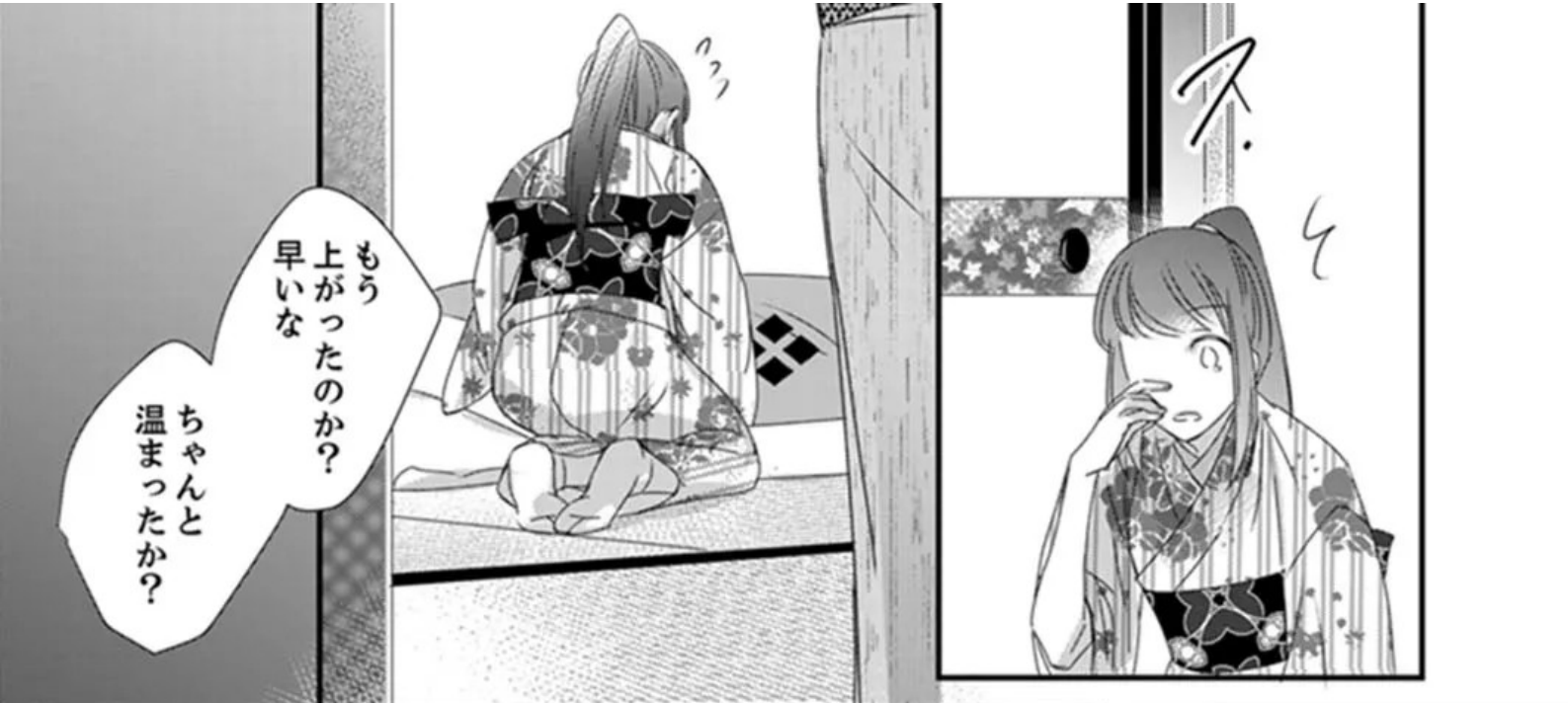
数年は帰って
こられないって
言ってたけど

義三のことだから
そのままだんどん
出世すれば



もう帰ってこない
かもしれない

そうになったら
私は――



見せて
みろ

本当に
ホコリが
目につ

なんて
顔をしている

もっと
素直になれ

俺の妻は
時々頑固で
いじっぱりなところがあるからな





俺と
お前しか
いない

もっとよく
見せてみる



千代佳の
顔も体も

すべて――





あんたが
俺に抱かれている時



どんなに
素直で綺麗か



千代佳も
しっかり
見ている

俺を欲している
姿を――



俺の妻は
とにかく
胸が敏感で

あっ



っ
ばかっ
いちいち
言葉にするなっ



こうやって
摘まんだり
吸われたりするの
がいいんだよな





義三の昇級は嬉しい

だけど
離れ離れに
なるのは…嫌だ

でも
義三が好きだから
邪魔をしたくない…

言えないっ
私…義三を
困らせたくない









航空艦隊所属
笹鞍義三参りました

まあまあ
そう固くならず

此処に来て
座りたまえ

はっ
失礼いたします

八幡から
聞いたぞ

昇級の件
延期させてほしい
らしいな

ありがたい話だと
思っているのですが

今日本を
離れるつもりは
ありません

なるほど……
出世するために
一緒になった娘が

今じゃそれを
躊躇させる存在か

大方日本に
置いていくのも
ロシアに連れて
行くことも
心配なのだろう

だが妻ごときで
出世できる機会を
先延ばしなど
笑い話にもならんぞ

笹鞍はこれから
海軍を担うために
必要な存在だ

できるだけ
早くロシアへ
行ってもらいたい

延期は無理……
ということでは
しょうか

何度も
言わせるな
笹鞍よ

置いていくことが
できないなら
連れて行けば
いいだろう

お前が
軍を離れるのは
許さん

失礼します
お茶を
お持ちしました

遅くなって
すみません

お話中でしたから
なんだか入り辛くって





To be continued...



ドS軍人と偽りの初夜 ―愛らしい声で鳴け 16巻

発行日 2018年2月1日

著者 千花キハ

発行 モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、
実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することは
できません。

© 2018 Kiha Chihana

eBOOKで
快適読書生活



<http://www.ebookjapan.jp>

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.
<http://www.ebookjapan.jp>
